

グローバル人材育成センター埼玉(GGS)では、海外留学応援や、留学経験者・外国人留学生の県内企業への就職支援などを行っています。

参加費すべて無料

## 「埼玉発世界行き」高校生のためのグローバルセミナー

高校生を対象に、埼玉から世界へ飛び出すきっかけとしてもらえるよう、埼玉大学の留学生や海外留学経験のある日本人学生とのディスカッションや交流を中心としたセミナーを開催します。

日時：11月29日(日) 9:45~17:30

場所：浦和コミュニティセンター 浦和パルコ10階(JR浦和駅東口徒歩1分)

募集人数：40人(高校生)



## GGG JOB FAIR

—日本人・外国人留学生対象インターンシップ説明会&就職面接会—

海外展開を目指す県内企業及び就職を考える大学生等(外国人留学生・日本人海外留学経験者)に対し、就職支援のためのインターンシップ説明会&就職面接会を実施します。

日時：11月30日(月) 13:00~17:00

場所：ソニックシティビル4階 市民ホール

(JR大宮駅西口徒歩3分)

参加企業：留学生を積極的に採用する15社(予定)

対象者：次のいずれかを満たす学生(大学院生、大学生、短期大学生、専門学校生等)①外国人留学生②海外留学経験のある日本人学生

## 海外留学フェア

～埼玉発世界行き～

海外留学に関心のある方やお子様の留学を検討されている保護者の方を対象に、各国大使館等の留学担当者によるミニセミナーや有識者による講演会を行います。留学経験者から直接経験談を聞ける交流コーナーは例年大好評です。

日時：12月19日(土) 11:00~16:30

講演 11:00~12:00

留学相談コーナー 12:00~16:30

場所：ソニックシティビル4階 市民ホール

(JR大宮駅西口徒歩3分)

申込み・問い合わせ先 グローバル人材育成センター埼玉(埼玉県国際交流協会内)

TEL:048-833-2995 FAX:048-822-3808 メール:global@sia1.jp



埼玉にゆかりがあり、グローバル社会で活躍している人を紹介するシリーズ「埼玉のグローバルさん」。今回は、平成26年度「埼玉発世界行き」奨学生としてイギリスのダンディー大学で医学教育を学んできた新井 大宏さんにインタビューしました。

英国ダンディー大学 医学教育修士課程  
日本プライマリ・ケア連合学会家庭医療専門医・認定指導医

あらい ともひろ  
新井 大宏さん



### —なぜイギリスに留学しようと思ったのですか？

私は子どもの頃は、体が弱く、度々かかりつけの医師の世話になっていました。中学受験の際、私の体だけでなく私の置かれていた状況なども理解した上で診療にあたってくださったその医師と日本の医療制度に助けられ、私は安心して受験に臨むことができました。その後、私は自身の経験から、“身近にあって何でも気軽に相談できる総合的な医療”いわゆる「プライマリ・ケア」医を目指すようになりました。そこで、この領域で先行していたイギリスに留学しようと思いました。

また、日本とイギリスは社会背景もよく似ています。国の医療費にける割合も医療制度もほぼ同じですし、地理的にも同規模の島国で、大都市への鉄道や道路におけるアクセスがよく、医学教育の方針などからも、学べる点が多くあると思いました。

### —留学を通してどんなことを感じましたか？

私は今までに何度か留学を経験しました。オーストラリアに初めて留学した時は、プレゼンテーションで自分の言いたいことが言えず、何よりも日本の文化や歴史について、日本人の自分が十分理解していないことにショックを受けました。それ以来、英語力とコミュニケーション力をつけることが目標になり、英語や社会科の勉強の大きな動機付けとなりました。苦手だった英語は得意科目になり、後年イギリスとアメリカに留学した際には、周囲との意見交換もスムーズにできるようになっていました。また、イギリスとアメリカの医療制度を学ぶ中で、自分の進みたい方向性も見えてきました。今回の留学は、学んだことを日本の医療に活かすために自分が何をしていくべきかを考える良い機会になりました。私はこれからも、私をいつも応援して

くれている方々や家族に対しての感謝の気持ちを忘れず、より良い医療従事者・教育者を目指して頑張りたいと思います。

### —若い人たちへメッセージをお願いします。

世界を見ると、ものの考え方が大きく変わるきっかけとなります。私は海外留学で、広い視野を持つことと、自分の意見を理解してもらうための表現方法の大切さを知りました。その手段として、英語は非常に役に立つと思います。様々な文化圏での経験は、物事を多角的に考えるきっかけとなりますので、将来自分の進路を決める時に選択肢が広がり、役に立つと思います。ぜひ、若い時から積極的に世界を見て、視野を広げてください。